

JENESYS2025 日本・ベトナム若手行政官・若手外交官交流（招へいプログラム） JENESYS2025 日本・ベトナム農地整備技術関係交流（招へいプログラム）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

● JENESYS2025 日本・ベトナム若手行政官・若手外交官交流（招へいプログラム）

ベトナムの将来を担う若手行政官 12 名が 10 月 21 日から 28 日まで日本を訪問しました。

本プログラムは、多角的に日本を視察し、日本の行政システム・ガバナンス等に関する理解を深め、日本の関係者とのネットワークを構築することによる日ベトナム間の関係強化を主目的として実施しました。

一行は、日ベトナム間の外交関係を学ぶとともに、日本における半導体産業や人口減少の課題解決に向けた地域活性化の取り組み等について学び、関係者と意見交換を行いました。また、農家民泊でのホームステイを通じて日本文化に対する理解を深め、これらの学びを SNS を通じて積極的に発信しました。

● JENESYS2025 日本・ベトナム農地整備技術関係交流（招へいプログラム）

ベトナム農業環境省の若手職員 3 名が 10 月 21 日から 28 日まで日本を訪問しました。

本プログラムは、日本の持続的な資源・環境管理技術や、農業を強い産業とするための関連技術の視察を通じて対日理解を深め、専門家や関係者との交流を通じて日越協力関係の発展に寄与することを主目的として実施しました。

一行は、日本における農地整備の取り組みや、衛星データや AI を活用した農地管理技術などの先進的な取り組みについて学び、農業従事者の不足や今後の農業発展に向けた課題について、専門家や関係機関との意見交換を行いました。また、農家民泊でのホームステイを通じて日本の農村生活を体験し、両国の農業分野における知見を共有するとともに、これらの学びを SNS を通じて積極的に発信しました。

【参加者】ベトナムの若手行政官、外交官 12 名、ベトナム農業環境省の若手職員 3 名 合計 15 名

【訪問地】東京都 15 名、香川県 15 名、神奈川県 12 名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

10 月 14 日（火曜日） 【来日前オリエンテーション】

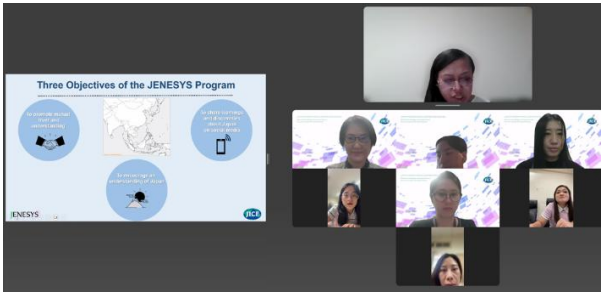
来日までの指定期間 【課題学習（動画配信）】「事前オリエンテーション」「ホームビジット体験」「南三陸町からのメッセージ」「愛知の魅力～産業、最先端技術～」「日本文化理解（京都）」「ホストタウンの取り組み」

■ 招へいプログラム：

- 10 月 21 日（火曜日） 成田国際空港及び羽田空港より入国
【来日時オリエンテーション】
【視察】明治神宮・原宿
- 10 月 22 日（水曜日） <グループ別プログラム>
● 若手行政官・外交官交流
【テーマ関連講義】「日ベトナム関係」
講師：外務省 南部アジア部南東アジア第一課 琉咲 愛 課長補佐
【テーマ関連視察】キオクシア株式会社 横浜テクノロジーキャンパス
● 農地整備技術関係交流
【テーマ関連講義】「日本における農地整備事業について」
講師：農林水産省 農村振興局 整備部 設計課 海外土地改良技術室
岩田 浩幸 海外企画係長
【テーマ関連視察】サグリ株式会社
- 10 月 23 日（木曜日） 東京都から香川県へ移動
【表敬訪問】香川県 植松 和弘 知事公室長
【テーマ関連講義】「香川県とベトナム・ハイフォン市との交流」
講師：香川県 知事公室国際課 橋本 崇宏 主任
【テーマ関連講義】「香川県の農業について」
講師：香川県 農政課 古市 幸司 課長補佐
【テーマ関連講義】「香川県の観光施策」
講師：香川県 空港振興課 児玉 隆 主任
【テーマ関連講義】「瀬戸内国際芸術祭について」
講師：香川県 文化芸術局瀬戸内国際芸術祭推進課 関守 侑希 主任
- 10 月 24 日（金曜日） 【視察】丸亀城
【日本文化視察】瀬戸内国際芸術祭 2025 宇多津エリア
【テーマ関連視察】瀬戸内海歴史民俗資料館
【ホストファミリー対面式・ホームステイ】高松市、坂出市、丸亀市、綾歌郡
綾川町
- 10 月 25 日（土曜日） 【ホームステイ】日本文化体験含む
- 10 月 26 日（日曜日） 【ホームステイ・ホストファミリー歓送会】
【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、SNS 発信状況等確認、
帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
- 10 月 27 日（月曜日） 香川県から東京都へ移動
【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
- 10 月 28 日（火曜日） 成田国際空港より出国

2. 記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）・招へいプログラム

	
10月21日【来日前オリエンテーション】	10月21日【視察】明治神宮・原宿
	
10月22日【テーマ関連講義】「日ベトナム関係」（若手行政官・外交官交流）	10月22日【テーマ関連視察】キオクシア株式会社 横浜テクノロジーキャンパス（若手行政官・外交官交流）
	
10月22日【テーマ関連講義】「日本における農地整備事業について」（農地整備技術関係交流）	10月22日【テーマ関連視察】サグリ株式会社（農地整備技術関係交流）
	
10月23日【表敬訪問】香川県庁	10月24日【視察】丸亀城

	
10月25日【ホームステイ】	10月25日【ホームステイ】
	
10月27日【報告会】	10月27日【報告会】 集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 行政官（公安省）

ホストファミリーと過ごした時間は、とても充実したものでした。夫妻は陽気でフレンドリーであり、心のこもったおいしい料理をたくさん用意していただきました。滞在中、私たちは田舎ならではの独自の文化に触れながら、楽しい生活を体験しました。具体的には、神社の見学や美術展の鑑賞を行い、さらに盆栽の剪定や庭の掃除といった作業も体験しました。これらの活動を通じて、日本の伝統や暮らしを深く理解することができました。今回の体験は非常に貴重であり、心から感謝しています。ホストファミリーが、今後もこのプログラムに参加し続けられるようお元気でいてくださることを願っています。そして、いつか再びこの場所を訪れる機会があることも願っています。

◆ 行政官（農業環境省）

香川県での視察と交流では地元の方々が親切に迎えてくださり、日本人のホスピタリティ精神を強く感じました。特にホームステイは忘れがたい経験でした。日本の家庭で生活することで、日本人の行動規範、規律精神、帰属意識、そして質素でありながら洗練されたライフスタイルを深く理解することができました。ホストファミリーの親しみやすく誠実な対応は、私に強い印象を残し、ベトナムと日本人の間にある強固な友好関係を実感しました。

また、香川県の創造的な観光開発政策、特に瀬戸内国際芸術祭にも大きな関心を持ちました。この芸術祭では、島々がオープンな芸術空間となり、観光客を魅了しながら地域経済を活性化しています。このプログラムでの経験は、科学技術の応用に関する知識を広げるだけでなく、日本人と文化を深く理解し、ベトナムと日本の友好関係のさらなる発展に貢献するものとなりました。

◆ 行政官（農業環境省）

日本の近代的で活気にあふれた発展の様子、美しい自然景観、そして清潔で衛生的な環境に深い感銘を受けました。文化や生活様式、人々について特に印象に残ったのは、謝罪と感謝を重んじる文化、規律正しく整頓された清潔なライフスタイルです。

2泊3日のホームステイ体験は、日本の文化や人々の生活をより深く理解する貴重な機会となりました。農業分野では、土地改革政策や土地管理・分配における人工知能（AI）の活用に強い敬意を抱きました。

また、明治神宮や丸亀城の見学ツアーを通じて、日本の文化と歴史についてさらに理解を深めることができました。JENESYS プログラムは、私に多くの思い出と貴重な経験を与えてくれました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

ベトナムの方に時間をかけて紹介することができたことに、まずは成果があったと思います。また、質疑応答でもじっくりとお話することができたので、ベトナム現地の反応を知ることができ、有意義でした。

今回の機会が、今後ベトナムの農業の発展につながれば幸いです。

◆ ホストファミリー

地域での散策中、近隣の方々と交流する機会がありました。畑での作業を共にした方々をはじめ、出会った皆さんが笑顔で大きな声で挨拶してくださり、どこに行っても非常に好印象を持たれていました。滞在中は、食事の準備や配膳、畑仕事、染色体験、けん玉への挑戦など、様々な活動に積極的に参加してくれました。何事にも興味を持ち、楽しんで取り組んでいる様子が見られ、私たち家族も一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等



2025 年 10 月 25 日（Instagram）

行政官（ベトナム工業貿易省）

JENESYS プログラム 2 日目に、日本の外務省を訪問しました。そこで、ベトナムと日本の関係に詳しい専門家である琉咲 愛 氏とお会いし、非常に有益なセッションに参加しました。このセッションを通じて、両国の外交関係や協力の重要性について理解を深めることができました。

Buổi sáng chúng tôi đã có 01 trải nghiệm thú vị cùng gia đình Ông Kenzo với việc cắt tỉa cây Thông và dọn dẹp khu vườn nhà



2025 年 10 月 26 日 (Instagram)

行政官 (公安省)

午前中、私たちはホストファミリーのご自宅で、松の木の剪定と庭の清掃を体験しました。日本の庭づくりに触れることで、細やかな美意識や自然との調和を重んじる文化を学ぶことができ、非常に興味深い時間となりました。

Cùng trải nghiệm một ngày với người dân Kagawa. 🇯🇵
#tràinghiệmtuyệtvời#
#JENESYS#2025



2025 年 10 月 26 日 (Facebook)

行政官 (農業環境省)

香川県で地元の方々と一日を共に過ごし、地域の文化や暮らしを体験しました。交流を通じて、日本の伝統や人々の温かさを深く感じることができ、非常に有意義な時間となりました。



2025 年 10 月 26 日 (Instagram)

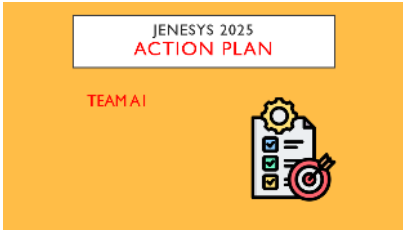
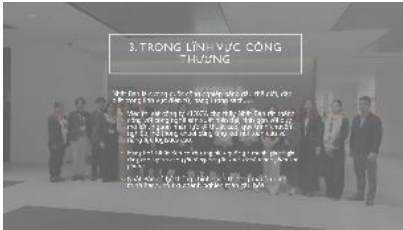
行政官 (ベトナム最高人民検察院)

徳島県の特産品である「すだち」を使った料理づくりを体験しました。地元ならではの食材を活かした調理を通じて、日本の食文化の奥深さを学ぶことができました。

2025.11.07 お知らせ サグリ株式会社、JENESYS2025にてベトナム農業環境省へ技術紹介を実施 	2025 年 11 月 7 日 (サグリ株式会社のウェブサイト) 「サグリ株式会社、JENESYS2025 にてベトナム農業環境省へ技術紹介を実施」
--	---

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、香川県、神奈川県 全 3 グループ発表

グループ A-1（若手行政官・若手外交官交流）		
		
【成果の発表】		
◆ 訪日全般の学び		
街路や公共スペースが非常に清潔で、国民の衛生意識が高いです。高齢者も勤勉に働き続け、労働を尊重する姿勢が見られました。公共サービスでは、警察官や駅員などが笑顔で丁寧に対応し、交通は秩序正しく静かで、クラクションやオートバイがほとんどありません。		
◆ 外交・政治・経済についての学び		
日本とベトナムが幅広い分野で協力する総合的戦略的パートナーシップを維持していることが確認できました。出入国管理では、自動ゲートと生体認証により手続きが迅速化されています。工業分野では、日本がエレクトロニクスやクリーンエネルギーで世界トップクラスの技術力を持ち、製品は高信頼性と付加価値を誇ります。教育分野では、日本の教育が高く評価され、ベトナム人留学生コミュニティも大きく、文化や生活スキル教育が充実しています。		
【アクション・プラン】		
「日本を発見しよう」		
日本の経済、社会、歴史、文化、外交関係について学びたいベトナムの若者向けに、ソーシャルメディアプラットフォーム（Facebook、TikTok、YouTube 等）に「日本を発見しよう」チャンネルを構築し、日本の魅力を発信します。		
2025 年 11 月にコンテンツの準備を行い、2025 年 12 月に専用チャンネルを開設し、記事や動画をオンラインで発信する予定です。結果報告は 2026 年 1 月までに実施する予定です。		
ソーシャルメディアを通じて 500 件以上のオンライン交流の実現や、日本の人・文化・国のイメージをベトナムの若者に広めることを目指します。さらに、ベトナムと日本の青少年間に新たなネットワークを構築し、両国の相互理解と交流を促進します。		

グループ A-2（若手行政官・若手外交官交流）



【成果の発表】

◆ 訪日全般の学び

日本は高齢者や外国人労働者にも活躍してもらおう政策を推進し、労働力の確保に努めています。また、社会問題の解決に向けてテクノロジーを積極的に活用し、歴史的資料の保存と国際発信にも力を入れています。香川県は文化・芸術・自然が融合した地域であり、瀬戸内海の穏やかな景観や瀬戸内国際芸術祭の現代アートが特徴です。丸亀城は歴史的建築の傑作として知られ、地域の魅力を高めています。

◆ 外交・政治・経済についての学び

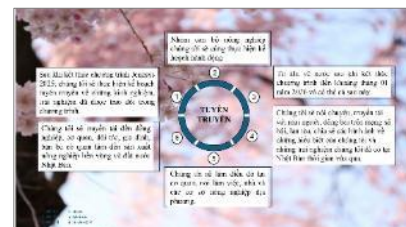
地域の特色ある文化を PR することが地域観光の発展に効果的につながることを発見しました。また、地理的な類似点に基づく 2 つの地域（香川県とハイフォン市）の文化交流が、日本とベトナムの外交関係の強化に貢献していることを理解しました。

【アクション・プラン】

日本文化や芸術に関心のある 18～35 歳の若者や、自然を体験できる観光地を探している 25～45 歳の観光客に向けて、行政官や若手外交官の視点を通じて、香川県の文化、経済、そして観光の真の価値を広く宣伝することを目的に、帰国後 3 か月間にわたり、プロモーションと体験の共有を継続的に実施します。動画、写真、記事などのデジタルコンテンツと、セミナーや職場での共有といった直接的なプロモーションを組み合わせ、多面的な情報発信を行います。また、Facebook や Instagram 等のソーシャルメディアを活用し、コミュニティへの情報拡散を図ります。さらに、旅行体験のレビューや個人旅行の経験を、関連するコミュニティグループに投稿し、香川での体験を友人や同僚に直接共有します。投稿は 3 か月間、週 1～2 回の頻度で継続し、コミュニティの関心を維持します。

この取り組みにより、香川県の文化や観光資源に対する認知度が向上し、日本文化や地方の魅力に関心を持つコミュニティの形成が期待されます。加えて、ベトナムと日本の交流促進や観光誘致への貢献も目指します。

グループ B（農地整備技術関係交流）



【成果の発表】

◆ 訪日全般の学び

プログラムを通じて、参加者は忘れられない思い出と貴重な経験を得ました。多くの場所を訪問し、多くの人々と交流する中で、有益な情報や知見を共有し、深い印象を残しました。

◆ 環境・技術についての学び

農林水産省では、日本の農地整備プログラムについて説明を受け、日本の土地改良法、農地改良に関する課題、さらに日本で実施済み・実施中・計画中の農地改良プロジェクトについて理解を深めることができました。また、農業分野における人工衛星やAI技術の応用について意見交換を行い、農地の規模確認、土壌の化学成分分析、水位測定などにAI技術が導入されていることを学びました。

【アクション・プラン】

帰国後から2026年1月頃までの期間、プログラムで得た経験や学びを広く共有し、持続可能な農業や日本への理解を深めることを目的に、定期的な情報発信と体験共有を継続的に実施します。

Facebook、TikTok、YouTube等のソーシャルメディアを活用し、日本で得た知識や体験を写真、動画、記事として発信します。また、持続可能な農業や日本文化に関心を持つ同僚、農業施設、家族、友人に対して、プログラムを通じて得た知見を共有します。

日本での学びを広めることで、地域社会や農業関係者の理解を促進するとともに、ベトナムと日本のネットワーク強化に貢献します。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）